

令和 8 年

# 小樽市議会第 1 回臨時会

令和 8 年 1 月 23 日開会

令和 8 年 1 月 23 日閉会



令和8年第1回臨時会 会期及び会議日程

1 会 期 1月23日(1日間)

1 会議日程

月 日(曜日)	本 会 議	委 員 会
1月 23日 (金)	提案説明、質疑、採決等	議会運営委員会



令和 8 年  
第 1 回臨時会会議録目次  
小樽市議会

○ 1 月 2 3 日（金曜日） 第 1 日目

1 開 会	1
1 開 議	1
1 会議録署名議員の指名	1
1 日程第 1 会期の決定	1
1 日程第 2 議案第 1 号及び議案第 2 号並びに報告第 1 号	1
○市長提案説明（議 1、議 2、報 1）	1
○質 疑 高野議員	2
○討 論 酒井議員	4
採 決	4
1 閉 会	5

第1回臨時会議事事件一覧表

議案 番号	件名
1	令和7年度小樽市一般会計補正予算
2	令和7年度小樽市港湾整備事業特別会計補正予算
報告1	専決処分報告〔令和7年度小樽市一般会計補正予算（衆議院議員選挙及び最高裁判所裁判官国民審査費に係る予算）〕

# 質 問 要 旨

高野議員（1月23日1番目）  
市長及び関係説明員

1 議案第1号一般会計補正予算について

2 その他



## ○出席議員

議席番号	氏名	1月23日
1番	新井田 邦 宏	○
2番	白 川 貴 城	○
3番	松 井 真美子	○
4番	酒 井 隆 裕	○
5番	高 野 さくら	○
6番	小 貫 元	○
7番	平 戸 理 史	○
8番	白 濱 聡	○
9番	橋 本 布美絵	○
10番	横 尾 英 司	○
11番	秋 元 智 憲	○
12番	松 岩 一 輝	○
13番	中 鉢 淳 二	○
14番	佐 藤 奈緒美	○
15番	中 村 吉 宏	○
16番	下 兼 薫	○
17番	面 野 大 輔	○
18番	高 橋 龍	○
19番	小 池 二 郎	○
20番	中 村 岩 雄	○
21番	前 田 清 貴	○
22番	鈴 木 喜 明	○
25番	佐々木 秩	○

注) ○…出席、×…欠席

## ○出席説明員

職 名	氏 名	1月23日
市長	迫 俊 哉	○
教 育 長	中 島 正 人	○
監 査 委 員	近 藤 朋 子	—
選 挙 管 理 委 員 会 長 委 員 会 長	平 口 山 和 弘	—
農 業 委 員 会 会 長	北 島 吉 治	—
副 市 長	上 石 明	○
病 院 局 長	有 村 佳 昭	○
水 道 局 長	飯 田 修 二	○
総 務 部 長	柴 田 健 治	○
総 合 政 策 部 長	柄 澤 晃 人	○
財 政 部 長	笹 田 泰 生	○
産 業 港 湾 部 長	渡 部 一 博	○
産 業 港 湾 部 長 港 湾 担 当 部 長	池 田 克 也	○
生 活 環 境 部 長	鈴 木 健 介	○
福 祉 保 險 部 長	中 村 哲 也	○
こ だ も 未 来 部 長	津 田 義 久	○
保 健 所 長	田 中 宏 之	○
建 設 部 長	山 岸 博 史	○
消 防 長	見 山 義 秋	○
病 院 局 小 樽 市 立 病 院 事 務 部 長	安 部 俊 克	○
教 育 部 長	野 呂 武 志	○
選 挙 管 理 委 員 会 長 事 務 局 長	澤 谷 宏	—
監 査 委 員 会 長 事 務 局 長	浅 井 泰 之	—
農 業 委 員 会 長 事 務 局 長	嶋 崎 哲 也	—
総 務 部 総 務 課 長	森 田 裕 規	○
財 政 部 財 政 課 長	佐 藤 暢 起	○

注) ○…出席、×…欠席

## ○議事参与事務局職員

職 名	氏 名	1月23日
事 務 局 長	中 村 弘 二	○
事 務 局 次 長	加 藤 佳 子	○
主 査	佐 々 木 昌 之	○
総 務 係 長	相 澤 幸	○
議 事 係 長	松 木 道 人	○
書 記	菅 翔 太	○
書 記	堤 か お り	○
書 記	越 智 美 幸	○
書 記	谷 脇 萌 々	○
書 記	成 田 昇 平	○



令和8年  
第1回臨時会会議録 第1日目  
小樽市議会

令和8年1月23日

開会・開議 午後 1時00分

○議長（鈴木喜明） これより、令和8年小樽市議会第1回臨時会を開会いたします。

直ちに、本日の会議を開きます。

本日の会議録署名議員に、新井田邦宏議員、下兼薫議員を御指名いたします。

日程第1「会期の決定」を議題といたします。

お諮りいたします。

本臨時会の会期を、本日1日間といたしたいと思います。

これに、御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（鈴木喜明） 御異議なしと認め、さように決しました。

日程第2「議案第1号及び議案第2号並びに報告第1号」を一括議題とし、市長から提案理由の説明を求めます。

（「議長」と呼ぶ者あり）

○議長（鈴木喜明） 市長。

（迫 俊哉市長登壇）（拍手）

○市長（迫 俊哉） ただいま上程されました議案について、提案理由の概要を説明申し上げます。

初めに、議案第1号小樽市一般会計補正予算につきましては、令和7年12月16日に成立した国の補正予算による物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金などを活用し、物価高騰による負担感が大きい子育て世帯や低所得世帯の生活を迅速に支援するための事業費を計上いたしました。子育て世帯に対しては、ゼロ歳から高校生年代までの子供1人当たり2万円を支給する、物価高対応子育て応援手当支給事業費に加えて、同事業の対象世帯には子供1人当たり5,000円を市独自の上乘せ分として支給いたします。低所得世帯に対しましては、所得割非課税世帯向け物価高騰支援給付金給付事業費により、対象1世帯当たり2万円をプッシュ型で支給いたします。

また、市民の消費の下支えを目的として新年度に実施するおたるプレミアム付商品券事業費につきましては、準備を速やかに進めるため、債務負担行為として所要の経費を計上いたしました。このほか、ふるさと納税による寄附が好調に推移していることから、その積立金と返礼品等に要する経費を増額いたしました。これらに対する財源といたしましては、国庫支出金、寄附金、繰入金を計上いたしました。

以上の結果、一般会計における補正額は8億8,090万8,000円となり、財政規模は691億7,783万7,000円となりました。

次に、議案第2号港湾整備事業特別会計補正予算につきましては、多目的荷役機械の故障に伴う緊急対応に係る経費を計上いたしました。

最後に、専決処分報告についてであります。報告第1号につきましては、本年1月23日の衆議院の解散に伴い、2月8日に投票が実施される予定の衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査に必要な経費を計上するため、一般会計の補正予算について本年1月19日に専決処分したものでありま

す。

以上、概括的に御説明を申し上げましたが、何とぞ原案どおり御可決、御承認賜りますようお願い申し上げます。(拍手)

**○議長（鈴木喜明）** これより質疑を行います。

通告がありますので、発言を許します。

(「議長、5番」と呼ぶ者あり)

**○議長（鈴木喜明）** 5番、高野さくら議員。

(5番 高野さくら議員登壇)(拍手)

**○5番（高野さくら議員）** 日本共産党を代表して、議案第1号小樽市一般会計補正予算について質疑いたします。

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金についてです。

高市政権は、昨年12月16日に物価高騰対策等を盛り込んだ補正予算を成立しました。一般会計の総額は18兆3,034億円に上り、2024年度補正予算と比べて31%増加し、新型コロナウイルス禍後で最大規模となりました。物価対策には8兆9,000億円を充て、子供1人当たり2万円の給付や食料品高騰対策などを組み込んでいます。食料品等の値上げラッシュが相次ぐなど、物価高騰による国民生活の困難は終わりが見えない状況の中、今回、小樽市議会に計上された一般会計補正予算額は約8億8,090万円です。

補正予算の中で、低所得世帯への支援のため、住民税所得割非課税世帯を対象に、所得割非課税世帯向けの事業があります。給付額は1世帯当たり2万円とし、生活保護利用世帯を含む住民税所得割が非課税である世帯が対象となっています。

日本共産党は、令和7年第4回定例会の代表質問の中で、国の重点支援地方交付金を活用して、福祉灯油など燃料高騰への支援の実施などについて伺ってきました。事業名は福祉灯油とはされていませんが、低所得世帯への支援には燃料高騰分も含めての支援ということでしょうか。

次に、おたるプレミアム付商品券事業についてです。

市内全業種を対象とした商品券事業により、物価高騰の影響を受けている市民の消費の下支えによる生活支援を図るとして7,000円分の商品券を5,000円で販売し、市内共通券7枚と地域応援券7枚の14枚が1冊として、1人6冊まで申込みが可能とし、総額4億500万円の事業費となっています。プレミアム付商品券事業にした理由についてお聞かせください。

日本共産党は、これまでおたるプレミアム付商品券は、市内経済の消費が落ち込んでいる場合には、消費を喚起する政策としては有効ですが、物価高騰の影響を受けている消費の下支えを図るとしても、1冊1万円の商品券が買えない市民の支援にはならないことを問題にしてきました。

今回1万円の商品券ではなく金額を引き下げ、過去最高のプレミアム率にはしていますが、物価高騰の影響は、全市民に大きな影響を与えています。商品券を買わない、買えない方にとっては、何の支援にもなっていないのは問題だと思います。

例えば4人家族であれば1人6冊まで購入できるので、12万円をすぐ出せるお金に余裕がある方であれば4万8,000円も得になるのでメリットも大きいと思いますが、商品券を購入しない方にとっては、恩恵にはならないのではないのでしょうか。

今回提案のパッケージでは、商品券を購入しない住民税所得割課税世帯の方に対して、物価高騰の支援は届かないのではないですか。

物価高騰で不安を抱えている市民の不安を取り除くことこそ、今、求められていると思います。子育て

て応援手当支給事業費や所得割非課税世帯向けの支援から外れている課税世帯の市民に対しても、支援を考える必要があるのではないのでしょうか。

以上、再質問を留保して、質問を終わります。(拍手)

○議長(鈴木喜明) 説明員の答弁を求めます。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○議長(鈴木喜明) 市長。

(迫 俊哉市長登壇)

○市長(迫 俊哉) 高野議員の御質問にお答えいたします。

議案第1号小樽市一般会計補正予算について御質問がありました。

初めに、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した、所得割非課税世帯向け物価高騰支援給付金給付事業費につきましては、現金給付による経済的支援を行うものでありますので、灯油の購入も含めてお使いいただきたいと考えております。

次に、プレミアム付商品券事業を行う理由につきましては、このたびの市民の皆さんへの支援策として、物価高騰による負担感が大きい子育て世帯及び低所得世帯に対してはスピード感を重視した現金給付を、その他の世帯を含む全世帯には幅広い品目に使用でき、現金とは異なり、使用が市内に限定されることで、プレミアム付商品券事業を行うことが本市経済にとっても効果的と考えたものであります。

次に、商品券を購入しない課税世帯の方への支援につきましては、今回のプレミアム付商品券は1冊からでも購入でき、1冊の販売価格を前回までの1万円から5,000円に引き下げ、購入しやすくするとともにプレミアム率を40%に引き上げ、手厚い支援とするほか、周知方法や販売方法の改善も図っておりますので、課税世帯をはじめ、多くの市民の皆様にご購入していただけるものと考えております。

次に、現金給付の対象とならない方への支援につきましては、プレミアム付商品券を購入していただくことで、1冊当たり2,000円分の支援を行う考えであります。

(「議長、5番」と呼ぶ者あり)

○議長(鈴木喜明) 5番、高野さくら議員。

○5番(高野さくら議員) 再質問を行いたいと思います。

市長は、今回は、商品券を購入できるところも増やして、幅広く使えるようにしたということもお話ししてはいたしましたが、やはり購入しなければ課税世帯の方は恩恵が受けられないところが問題ではないのかと思います。

札幌市は市民1人当たり5,000円、旭川市は7,000円、物価高対策として全ての市民に対して現金給付する報道がされています。函館市は、小樽市のようにプレミアム付商品券を発行するということですが、函館市の場合は、昨年12月に全市民の水道料金のうち基本料金を4か月免除にしていますし、やはり他都市の状況を見ても、物価対策の支援が全市に行き渡るような対策が取られていないと思います。

今回、提案された本市の予算には、住民税所得割課税世帯にとっては支援が行き届かず、商品券を購入しなければ、課税世帯に恩恵がないことについて問題ではないかという質問に答弁いただきたいのと、また、今回、三つ、子育て支援の給付金、非課税世帯の方以外の対象から外れてしまった方に対する支援を考えるべきではないかと思うのですけれども、伺いたいと思います。

○議長(鈴木喜明) 説明員の答弁を求めます。

(「議長」と呼ぶ者あり)

○議長(鈴木喜明) 市長。

○市長（迫 俊哉） 高野議員の再質問にお答えいたします。

課税世帯の方への支援についての御質問を二ついただいたと思っておりますけれども、一つに整理しお答えさせていただきたいと思っております。

令和7年末の世帯数が5万9,673世帯、約6万世帯となっております。今回の給付金事業につきまして、非課税世帯給付金事業と手当のものも含めてとなりますが、非課税世帯が約2万6,500世帯、それから、その他の課税世帯、子育て世帯と三つの世帯に私どもは区分させていただきました。市民の皆さんは、この三つの世帯のいずれかには属することになりますが、今回は、給付金事業を含めて、何らかの形でそれぞれの世帯に支援が行き渡るような制度設計をしたものであります。

商品券を購入しない課税世帯の方への支援ですけれども、プレミアム付商品券をお買いになるか、お買いにならないかはそれぞれの方の御判断だと思っておりますが、私どもといたしましては、先ほど申し上げましたように、何らかの形でそれぞれの世帯に対して支援が行き渡るように制度設計もさせていただいておりますし、今回は、よりプレミアム付商品券をお求めやすい形に改善させていただいておりますので、ぜひ多くの市民の皆様にご購入をいただきたいと考えております。そういった形で、現金給付の対象とならない方への支援にもつながっていくと考えているところでございます。

○議長（鈴木喜明） 以上をもって質疑を終結し、この際、暫時休憩いたします。

休憩 午後 1時17分

再開 午後 1時35分

○議長（鈴木喜明） 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

これより、一括討論に入ります。

（「議長、4番」と呼ぶ者あり）

○議長（鈴木喜明） 4番、酒井隆裕議員。

（4番 酒井隆裕議員登壇）（拍手）

○4番（酒井隆裕議員） 日本共産党を代表して、議案第1号は否決の立場を表明し、討論を行います。

長引く物価高騰の下、市民の暮らしや中小業者の経営は深刻さを増すばかりです。おたるプレミアム付商品券事業は、これまでの販売価格1万円から5,000円に引き下がったことは評価いたします。しかし、5,000円という支出すら余裕がない市民にとってメリットはありません。零細業者にとって現金化に一定の時間がかかることは重要です。日々の経営の苦しさから現金化まで時間がかかることで、手を挙げることにちゅうちょする業者への支援はありません。

プレミアム付商品券事業は、結局、余裕のある消費者と余裕のある業者へは大きな支援となる一方で、余裕のない消費者と業者への支援にはなりません。

そもそも物価高騰対策は迅速さが求められるのに、使用期間が8月からの事業を臨時会で議決する必要があるでしょうか。第1回定例会で済む話です。現金給付などプッシュ型であれば、消費者と事業者双方にメリットがあります。

これらのように、物価高騰であっても経済的余裕のある市民にしかメリットがないプレミアム付商品券事業を賛成することはできません。

以上を申し上げ、討論といたします。

○議長（鈴木喜明） 討論を終結し、これより順次、採決いたします。

まず、議案第1号について、採決いたします。

可決と決定することに、賛成の議員の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長（鈴木喜明） 起立多数。

よって、さように決しました。

次に、ただいま決定いたしました以外の各案件について、一括採決いたします。

議案は可決と、報告は承認と、それぞれ決定することに、御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長（鈴木喜明） 御異議なしと認め、さように決しました。

以上をもって、本臨時会に付託されました案件は全て議了いたしました。

第1回臨時会は、これをもって閉会いたします。

**閉会 午後 1時38分**

---

#### 会議録署名議員

小樽市議会 議 長 鈴 木 喜 明

議 員 新 井 田 邦 宏

議 員 下 兼 薫



○諸般の報告

○令和8年小樽市議会第1回臨時会議決結果表



○諸般の報告

- (1) 監査委員から、令和7年11月分の各会計例月出納検査について報告があった。(招集日配付分)

以 上



# 令和8年小樽市議会第1回臨時会議決結果表

○会期 令和8年1月23日（1日間）

議案 番号	件 名	提 出 日 年 月 日	提 出 者	委 員 会				本 会 議	
				付 託 日 年 月 日	付 託 委 員 会	議 決 日 年 月 日	議 決 結 果	議 決 日 年 月 日	議 決 結 果
1	令和7年度小樽市一般会計補正予算	R8.1.23	市長	—	—	—	—	R8.1.23	可決
2	令和7年度小樽市港湾整備事業特別 会計補正予算	R8.1.23	市長	—	—	—	—	R8.1.23	可決
報告1	専決処分報告 [令和7年度小樽市一 般会計補正予算（衆議院議員選挙及 び最高裁判所裁判官国民審査費に係 る予算）]	R8.1.23	市長	—	—	—	—	R8.1.23	承認

